

サカセ化学、2025年大阪・関西万博の運営参加サプライヤーとして参画 ～備えない防災 - 「METAMO+ (メタモプラス) 防災・変形シリーズ」を協賛～

サカセ化学工業株式会社(本社：福井県福井市、代表取締役社長：酒井哲夫、以下「サカセ」)は、2025年日本国際博覧会(以下「大阪・関西万博」)を開催する公益社団法人2025年日本国際博覧会協会(以下「博覧会協会」)の協賛企業として運営参加することとなりました。当社は大阪・関西万博の運営参加サプライヤーとして大阪・関西万博に協力してまいります。



METAMO+ (メタモプラス) 防災・変形シリーズとは

一般的な防災備品は防災倉庫などに蓄え、「もしも」の時に取り出して使用する物がほとんどですが、いつ起こるか分からない災害に備え必要な品々を蓄えることは、スペース、費用の両面で大きな負担となります。

「METAMO+ 防災・変形シリーズ」は、日常生活で使うカート、ラックでありながら、災害時には簡易介助チェアや簡易ブースへと変形でき防災備品として活躍する商品です。



協賛品の概要

備えない防災を变形で実現 METAMO+ 防災・変形シリーズ ラックタイプ



一般的なラックと同様に陳列や収納に使える商品で、災害時には、プライベート空間の確保ができる簡易ブースに変形できます。変形は、ラックに付属の専用工具を用い、アルミ製部材を組み替えブースのフレームを作り、付属のカバーを被せれば完成です。ラックから取り外した棚板は足元のスノコとして使用できます。非常時の更衣室や授乳室などに活用できるほか、撥水性に優れた生地と天井部に施した独自の雨流し構造により、屋外の手洗いスペース、簡易トイレスペースなどにも活用いただけます。

サカセは、医療機関向けのキャビネットやカートなどを主力商品とし、全国の多くの医療機関で採用頂いております。これまでにヘルスケア市場で培った機能性や操作性、安全性、耐久性などの実績とノウハウを活かし、頑丈かつ安全であることに設計段階からこだわった商品です。

大阪・関西万博では、「スタジオ施設」と「消防拠点」の2箇所で使用頂きます。大阪・関西万博、博覧会協会を通じ多くの参加国と来場者の目に触れ、災害対策の新たな手段として活用されることを期待しております。

会社概要

商号 サカセ化学工業株式会社
代表者 代表取締役社長 酒井 哲夫
所在地 〒910-0147 福井県福井市下森田町3-5
設立 1962年1月
資本金 9,600万円
事業内容 医療用キャビネット・カート、医療用具、
各種プラスチック、ゴム、木、ステンレス、アルミ製品の企画・開発・設計・製造・販売
U R L <https://www.sakase.com/>
METAMO+防災・変形シリーズウェブサイト <https://www.sakase.com/metamo/>

開催概要

名称 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）
テーマ いのち輝く未来社会のデザイン Designing Future Society for Our Lives
コンセプト 未来社会の実験場 People's Living Lab
開催期間 2025年 4月13日（日）～10月13日（月）
開催場所 大阪市此花区 夢洲（ゆめしま）
運営元 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 <https://www.expo2025.or.jp/>

■この件に関するお問合せ先

サカセ化学工業株式会社

未来創成本部 本部長 木谷 佳敬

TEL 0776-56-1122（代表）

E-mail y.kidani@sakase.com

携帯電話 090-5170-1030